



あれこれ通信 No.100

渋谷とみ子の議会報告 2022年3月

埼玉県比企郡嵐山町千手堂 39-46 渋谷とみ子 TEL/FAX 0493-62-7997

Https://space.tom.shibuya.com. Email shibuya97@s4.dion.ne.jp

—嵐山町議員 30年、経過しました—

嵐山町の 変わったこと・・気候変動による災害・子ども数の減少
変わらないこと・・小さい声、若者、女性の声が届かない

気候変動・人口減少に 対応を

子どもが育つ場所は

■小中学校の再編成

小中学校の再編が審議会で話し合われています。話し合われている内容では、前回の結果の通り菅谷中学校の敷地に新しい小学校1校、新しい中学校1校を建設とする答申と予測されます。

七郷小学校、志賀小学校・玉ノ岡中学校が閉校になる場合、地域の方が納得いく手続きと閉校後に地域が元気に存続する政策を協議をしてほしい。

同年齢の集団で同内容で学習という方法にとらわれず、多様な価値観で学ぶ方法も必要です。

■現学校施設の改修

校舎の老朽化を放置していた結果、危険な場所もあります。トイレの洋式化は進みませんでした。

学校建物へのメンテナンスは、財源不足を理由に後回しにされていました。予算化すれば改善できたのです。今、始めました。

■災害時に安全であること

学校周辺の地盤が安心できるものか重要です。地震にも、土砂災害にも、雪害にも。

七郷小学校周辺は土砂災害の危険がありました。玉ノ岡中学のそばの市野川は氾濫して、浸水被害にあった世帯がありました。火山の活動期、気候変動の課題があります。子どもの居場所は、災害時の安全もふくめて考える時代に入っています

CO2 排出をゼロに。

■生ごみと紙ごみは発酵させ電力に

寄居町オリックスのバイオガスプランで発酵させて電力となります。1日100トンの処理量で一般家庭の年間3140世帯分の1年間の電力になるということです。

■ゴミを焼却しないで発酵処理で電力

生ごみの量の10%を紙・木材などが理想。徹底的な分別が必要です。徐々にです。

■電気自動車でカーシェアリング

■1家庭からの自動車運転によるCO2排出量は年間1048Kg。家庭のCO2総排出量の26%。ガソリン車から電気自動車にして排出量を少なくできます。

■電気自動車は200万円クラスの軽自動車も出てきました。町の自動車を電気自動車に徐々に変更し土日は、町民に貸し出す。

■北部、南部地区からの買い物、医療機関への通院は、地域で電気自動車のカーシェアリングで行う。試行している自治体があります。

■高齢で免許返納した人、移動が不便な人、子どもに、地域で電気自動車のカーシェアリングで、通院・通学・買い物を試みに行うことから始めることも提案します。

